

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【石井東小学校】

<第4学年：やさしさ広げ隊>

障がい者との関わり方について体験活動を通して学び、人に優しい生き方を考えさせた。まず、国語科の「便利ということ」の学習をきっかけに、バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べた。その際、はさみや包丁、マグネット、画鋸など身近にある道具で、誰でも安全に使えるように工夫されたものを実際に使ってみた。力の弱い人を想定して作られたはさみなどは、健康な自分たちも使いやすいことを実感し、ユニバーサルデザインのよさや大切さに気付いた。その後、車椅子の扱い方、ガイドヘルプの仕方、点字の仕組みや打ち方について調べた後、体験活動に臨んだ。短時間ではあったが、児童は様々な立場を経験することができた。そして誰にとっても生活しやすい社会をつくる必要性や、周りにいる人々の優しい心が何よりも大切であることに気付いた。

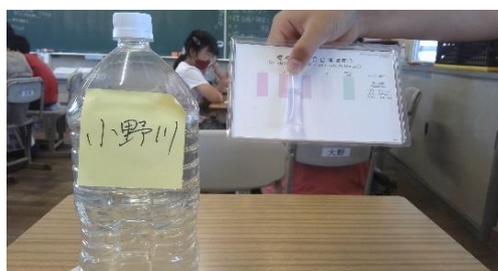
<第5学年：>

石井東小学校の校区内を流れる川を採検し、校区の川の水の水生生物を採取して川の汚れ具合を調べたり、校区の川や泉の水質を簡易水質検査器（パックテスト）を使って検査したりして、現在の校区内の川の水の現状を調べた。その結果から、児童は水やごみなど自分たちの町について、環境問題を視点に見直し、課題や改善策を新聞にまとめ、報告会を行った。

その後、地球規模の環境問題へと関心を広げ、世界中を旅して現在の地球の現状を見てきた方を講師としてお招きした。貴重な写真と映像を交えながらの地球の現状についての話に、児童は真剣に耳を傾けていた。まだ、十分に知らない他国の現状や環境に対する意識をさらに高めることができた。



【ユニバーサルデザインの文具を利用する児童】



【簡易水質検査器を使っての水質調査】